

# 英国独立学派の講読セミナー

## 本セミナーのご案内

1940年代の英国において、学派・理論の相違に始まる現代フロイト学派とクライン派の間に起きた大論争は、独立学派（中間学派）を産み落とした。それは i) 党派性にとらわれないという、自由・独立を旨とした分析家の立ち位置とともに、ii) フロイトの時代に遡ってフェレンツィ、ジョーンズらを出発点とする幅広い精神分析理論を束ねる「学派」を形成して現代に至っている。開講初年度の今年も10回にわたり、フェレンツィ、バリント、フェアバーン、ウィニコットという理論家の主要な文献について理解を深めたい。各回2～4本の文献を指定し、予め割り振った担当者がレジュメを作成しそのプレゼンテーションと他の参加者のそれぞれの文献に関する質問を中心にセミナーリーダーが全体の理解をファシリテートする。

**対 象：** フロイト理論の系統講義（基礎講座、精神分析セミナー）・セミナーの受講経験が有る専門家

**日 程：** 2019年5月以降 原則第3日曜日 全10回（5月のみ第4、8月は休み）  
10時30分～13時

**場 所：** クリニックおくでら（小田急線小田原線 経堂駅 徒歩5分）

**セミナーリーダー：** 奥寺 崇

**受 講 料：** 50,000円

**定 員：** 10名

**参 考 文 献：** 『英国独立学派の精神分析』G. コーホン編、西園昌久監訳、岩崎学術出版社

**論 文 リ ス ト：** 以下参照（一部変更の可能性あり）

**申 込 方 法：** 申し込み用紙に必要事項を書いて、FAXまたは郵送してください。

受講の可否を葉書または、申込書に記載のEmailアドレスにご連絡いたします。振込先をご確認の上、受講料をお振込みください。

〒160-0004 新宿区四谷3丁目4番 SCビル6階

小寺記念精神分析研究財団事務局 FAX：03-3350-9749

電子メールアドレス：[kodera.kt@nifty.com](mailto:kodera.kt@nifty.com)

**申 込 期 限：** 2019年5月17日（金）

**主催：** 小寺記念精神分析研究財団

## セミナー予定

# 1 (5月26日): コースの紹介、本能と対象関係

M. Balint (1937) Early Developmental Stages of the Ego (邦訳あり)

S. Ferenczi(1913) Stages in the Development of the Sense of Reality

# 2 (6月16日): 本能と対象関係Ⅱ 早期の自我の分裂

Fairbairn (1952) Psychoanalytic Studies of the Personality (邦訳あり)

Winnicott (1960) Ego Distortion on the Term of True and False Self (邦訳あり)

# 3 (7月21日): 遊び、遊ぶことと治療活動

Winnicott (1953) Transitional Objects and Transitional Phenomena (邦訳あり)

Winnicott (1971) Playing : A Theoretical Statement (邦訳あり)

# 4 (9月15日): 原初的創造性、芸術と創造的営み

Winnicott (1971) Creativity and its Origins (邦訳あり)

Milner Psychoanalysis and Art in “The Suppressed Madness of Sane Men”

Wright (2000) To make Experience Sing

# 5 (10月20日): 早期の情緒発達、環境の失敗、侵襲とトラウマ

Winnicott (1945) Primitive Emotional Development (邦訳あり)

Ferenczi (1933) Confusion of Tongues between Adults and the Child

Khan (1974) ‘Cumulative Trauma’ and ‘Ego-distortion, Cumulative Trauma and the Role of Reconstruction in the Analytic Situation in “The Privacy of the Self”

# 6 (11月17日): セクシュアリティ理解への独立学派の貢献

Jones (1948) The Phallic Phase

Heimann (1952) Notes on the Anal Stage

Gillespie (1952) The General Theory of Sexual Pervasion

Limentani (1989) To the Limits of Male Homosexuality

# 7 (12月15日): 本能と対象関係Ⅲ フェアバーン、対象関係の精神分析理論

Fairbairn (1952) Endopsychic Structure considered in the Terms of Object relations

# 8 (1月19日): 技法論Ⅰ

King and Steiner (1991) The Freud-Klein Controversies

Limentani (1966) A re-evaluation of Acting Out in Relation to Working Through

Limentanin (1981) On Some Positive Aspects of the Negative Therapeutic Reaction

Rayner (1991) The Psychoanalytic Process for the patient in “The Independent Mind in British Psychoanalysis

# 9 (2月16日): 技法論Ⅱ

King (1978) Affective Response of the Analyst to the Patient’s communications

Winnicott (1974) Fear of Breakdown (邦訳あり)

Stewart (1992) Psychic Experience and Problems of Technique

Balint (1968) Therapeutic Aspect of Regression in “Basic Fault” (邦訳あり)

# 10 (3月15日): まとめ

# 英国独立学派の講読セミナー 申 込 書

本参加申込書は、下記住所まで郵送、FAXまたはE-mailにてお送りください。(電子メールでのお申込みは、下記の項目を本文にすべて記載し、件名を「英国独立学派の講読セミナー申込み」として下さい。)

〒160-0004 東京都新宿区四谷 3-4SC ビル 6 階  
小寺記念精神分析研究財団事務局

FAX : 03-3350-9749 E-mail : [kodera.kt@nifty.com](mailto:kodera.kt@nifty.com)

申込期間 5月17日(金)まで期間厳守

申込 月 日

フリガナ 氏 名		男 ・ 女 (19 年生)
勤 務 先		
所 属	職 種	経 験 年

(どちらかを○で囲んでください)

自宅 ・ 勤務先

連 絡 先 住 所	〒	
自 宅	電 話	FAX
勤 務 先	電 話	FAX
e-mail アドレス		

**参加費：50,000円**

☆ 参加の可否については、受付後順次葉書または、申込書に記載のE-mailアドレスにご連絡いたします。定員になりしだい締め切ります。

本セミナーをどのようにして知りましたか？該当する箇所に○をお付け下さい。

郵便・ホームページ・メール・知人の紹介・その他 ( )

※記載いただいた個人情報はセミナーのご連絡・ご案内のみに使用いたします。